

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月4日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5・6号機化学分析室の空気冷却器給気ユニット冷却コイルの破損について】 当直員が、5・6号機化学分析室の空気冷却器点検修理終了後、冷却水系統の水張りをしていたところ、設備主管担当者が、空気冷却器の給気ユニット下部のドレンラインより水が流出していることを確認。 水張りを停止し、ドレンラインからの流出が止まった。 給気ユニット内部を確認した結果、冷却コイルが破損しており、冷却コイル内部の残水が凍結したことによりコイルが破損したものと推定。 冷却コイルの修理が完了するまでは、室内空調機を運転し、温度が高くなる場合は、必要に応じてスポットクーラを設置して、化学分析室内の温度調整をする。 今後、破損した冷却コイルの修理、および、再発防止対策を検討予定。	GⅢ	2月1日
2	【油処理装置給気フィルタの搬送時におけるフランジ配管の脱落について】 協力企業作業員が、工場から福島第一原子力発電所へ油処理装置給気フィルタを搬送し荷下ろししていたところ、給気フィルタ取合い部のフランジ配管が、溶接部から脱落していることを確認。 工場出荷時において異常が確認されなかったことから、車両での搬送時における振動が原因と推定。 今後、当該脱落箇所の修理、および、再発防止対策を検討予定。	GⅢ	1月29日